

Tomorrow

第3号

ともにすてっぴ

「男女共同参画社会基本法」

「男女共同参画社会」とは、男女がともに家庭、職場、学校、地域など社会のあらゆる場での活動に参画*する機会が確保され、均等に利益を受けることができ、ともに責任を分かち合う社会のことです。

日本では、男性の仕事時間が長く、一方で家事時間は非常に短いという状況が、諸外国と比べて際立っています。つまり、「男は仕事、女は家庭」という姿がはっきりと現れています。

しかし、女性の人権の観点や社会参加の状況、一方で男性も過労死などの問題で人間らしい生活を奪われていることから、

これまでのように性別によって役割を固定する考え方は改めていく必要があります。

そこで国は、「男女共同参画社会」をつくるにあたっての基本理念を明らかにし、その方向性を示した「男女共同参画社会基本法」を制定しました。（「男女共同参画社会基本法」は平成11年6月23日公布・施行されました。）

参画：決められた内容の活動に参加するだけでなく、活動内容、計画の立案に加わること。

セクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口

- 女性労働者センター（大阪府労働福祉推進課内）
大阪市中央区石町2-5-3 エル・おおさか 南館 3階
TEL.06-6946-2601
月～金 9:00～17:45
※予約による弁護士相談は火曜日
- 労働省大阪女性少年室
大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎 第2号館 9階
TEL.06-6941-4647
月～金 9:00～17:00
- 大阪府教育センター（学校におけるセクシュアル・ハラスメント）
大阪市住吉区苅田4-13-23
TEL.06-6607-7353
第2・4木 13:45～16:45
※面接相談は予約が必要
- 大阪弁護士会（電話相談）
TEL.06-6364-6251
第2木 11:30～13:30
- ドーンセンター（心の悩み・電話相談）
大阪市中央区大手前1-3-49
TEL.06-6937-7800
月～金 10:00～16:00 18:00～20:00
土日祝 10:00～16:00
（休館日/水・祝日の振替日）
※面接相談は予約が必要 予約・問合せ TEL.06-6910-8588
- コミュニティプラザ（警察への困りごと相談）
大阪市北区曾根崎2-16-14（曾根崎警察署地下）
TEL.06-6363-8181
月～日 10:00～19:00
（休館日/火）

一人ひとり、考え方や感じ方はちがいます。

自分の思うことが当たり前でしょうか？

知らず知らずにだれかを傷つけていることがあるかもしれません。

立場を入れ替えて考えてみたり、ちょっとした想像力で気づくことがあるかも。

あなたとわたし、素敵な明日へともにSTEP。

特集

個人のモンダイ???

セクシュアル・ハラスメント

個人のモンダイ???

セクシュアル・ハラスメント

女の人の中にも、女性がお酌をするのは当たり前と思って、いる人もいますよ。

そばを通るたびに首や肩をさわっていき人がいて、すごくイヤだったけど、相手はさわられて喜んでいて、勘違いしているみたいで、どうしていいかわからなかった。

職場の誰かひとりのしたこと、「だから女は…」って言われるのは、すごく心外。

女性もイヤなことはイヤってはっきり言うことが大切よね。

女

のモンダイ

セクハラとかの以前に、相手の人格を認めていたら絶対にできないようなことっていうのもあると思う。

チークダンスを嫌々してました。断わると角が立つみたいで…。

- 歓送迎会なんかで、お酌やデュエットをするようにまわりから言われると、断りにくいわ。こんなことぐらいでって思われそうで。
- 職場で男性どうしHな話を大きな声でしている時なんか、席に居づらくて仕事も進まないわ。
- いまは「セクハラ」という言葉があって、男性も少しは意識してるけど、昔はもっと嫌な思いもしたし、まわりも当たり前って雰囲気だった。
 - まわりの女性が上手に注意できたらいいけど、それをしたら、やっかみみたいに思われそうで言いにくいし…。
 - 女性に大事な仕事は任せられないって考えている男性が多いから、重要なことを決める時にも参加させてもらえなくて、女性が軽く扱われているって思います。
 - 女性の中にも責任を取りたくないし、気楽な仕事で満足している人がいるのも問題じゃない?
- 小学校の時、担任の先生が女子の身体をじろじろ見たり、さわろうとするので、すごく嫌だったのを覚えています。
- クラブの先輩からのデートの誘いを断わったら、「あいつは、いろんな男と遊んでる。」と言いつらされました。
- PTAの役員をした時に、先生との懇親会の席で校長先生とデュエットするように言われて、みんな困ってました。
- 地域の集まりなんかでも、夫婦のあいだのことをいろいろ聞かれて、嫌だったわ。

相手の立場になって気持ちを考えたら、セクハラもなくなるんじゃない?



セクシュアル・ハラスメント。ほとんどの人がこのことばを、一度は聞いたことがあるでしょう。セクシュアル・ハラスメントとは「相手の意に反して、性的な発言や性的な行動をすること」とされています。性的な発言とは、性や身体に関する冗談やからかい、性的なうわさを流すこと、執拗に誘ったりすることで、性的な行動とは、わいせつ行為や必要もないのに身体をさわったり、わいせつな絵や写真を見せたりすることなどを指します。

以前から、こうした行為はありましたが、多くの女性たちは見て見ぬふりをしたり、黙って我慢したりしてきました。

1970年代にアメリカで社会問題となった後、約10年前から日本でもこのことばが知られるようになりました。当初のマスコミなどでの取り上げられ方は、興味本位でふまじめなものが多かったのですが、1989年に日本で初めてのセクハラ訴訟が起されたところから、セクシュアル・ハラスメントにより、働きやすい職場環境が侵害され、被害者が不利益をこうむることが知られてきました。

今では、セクシュアル・ハラスメントは個人的な問題ではなく、すべての人に共通する人権に関わる問題であることが認識されつつあります。さらに、セクシュアル・ハラスメントは職場での上司から部下に対してだけでなく、学校では男性教師から女性教師へ、教師から生徒へ、大学では指導教官から学生へ、また、地域の人間関係の中でも起こっていることが明らかになってきています。

セクシュアル・ハラスメントについて、女性と男性ではそれぞれどのように感じているのでしょうか。

女性の中にも被害者意識の強い人がいて、必要以上に騒ぎ立てるって思うときもあるなあ。

どこまでがよくて、どこからセクハラかわからないし、相手によっても違うからもっとむずかしいね。

年齢のことを必要以上に言うのもセクハラだよな。

「〇〇ちゃん」とか「うちの女の子」って言うのは?

男

のモンダイ

新聞やマスコミで、何でもセクハラって取り上げるのはおかしいよ。

- ちょっとした冗談でも、セクハラと言われそうで、職場で女性と話がしにくいよ。すぐ裁判になるんじゃないか、なんてことまで考えてしまう。
- 女だけじゃなくて、男も身体のことをからかわれるのは嫌だよ。
- スタイルやおしゃれなことを誉めてもいいけないんだって?
- 同じことをしても、男女で受け止め方にズレがあるのはしかたがないよ。
- 男だって、強くなければ男じゃないみたいな言い方される時ってあるけど、なんかプレッシャー感じるね。
- 家でできないことを職場でならするというのは、おかしいね。たとえば、ヌードカレンダーを貼るとか。
- 職場では、男性が多いから、つい男性しかいないと思って話してしまうのが問題になるのかな。
- 相手がどう感じているか、よく見ないといけないんだろうけど、本当に嫌なのか、内心喜んでいるのか、わからないときもあるからむずかしい。



セクハラは、なぜ起こる

男性が女性を対等なパートナーとして見ないで、相手の人格を尊重せず、男性が女性を性的な関心や欲求の対象として見ているからといえますが、セクシュアル・ハラスメントを起こすのは、特別な人ではなく、普通にどこにでもいる人です。

職場での上司と部下、学校での教師と生徒など上下関係の立場になることや権限を持つことで、弱い立場の人に向けられるのです。

一般に男性の方が女性より上の立場にあることが多く、相手が自由に逃げられない状況でセクシュアル・ハラスメントの起こることが多くなっています。

また、異性関係を噂されることなどに対して、男女で社会の評価が違うことや、容姿を問題にすることで女性がひどく傷つくこともあります。

職場でのセクシュアル・ハラスメントについては、企業が女性社員を一人前の労働者として扱わず、補助的な役割、「職場の花」的にしか捉えていない在り方も問われています。



セクハラ被害にあったら

- ★その場で言えることなら、嫌なことは嫌とはっきりと抗議しましょう。
- ★自分が悪かったと、自分を責めることはありません。
- ★日時や場所、行為や言葉の内容など、どのようなことでも記録しておきましょう。
- ★信頼できる友人や家族に話しましょう。
- ★相談機関を利用しましょう。

最初はささいなことから始っても、エスカレートして被害が大きくなる場合があります。これぐらいのことで我慢することはありません。

あなたが友人や家族から相談を受けたら、相手の話をよく聞いてあげることが大切です。相手の落ち度を責めたり、不用意に慰めるなどの心ないひと言が、さらにつらい気持ちにさせることになります。

相手がどのようにしたいのか意見を尊重し、相談機関を利用するなど適切な対応がとれる人を探しましょう。また、本人の了解なしに相談の内容を他人に話すことは信頼関係を損なうだけでなく、相手の心をさらに傷つけます。

セクハラを起こさないために

- ★相手の立場に立ってものを考えてみましょう。
- ★親しさを表すつもりでも、相手を不快にさせてしまう場合があります。
- ★相手の受け止め方や感じ方には個人差があります。このぐらいのことで勝手な思いこみは禁物です。
- ★あなたの妻や娘、恋人がされたとしたら、「たいしたことない」と思えることかどうか考えてみましょう。

セクシュアル・ハラスメントは、男性だけがするものとは限りません。冗談や親しさから、相手への好意を表したつもりでも、相手が嫌だと感じれば、セクシュアル・ハラスメントといえます。人の嫌がることはしないという当たり前のルールと相手の人格を尊重すること、相手を思いやる気持ちでなくすことができるでしょう。

たとえば、セクハラってどんなこと?

学校で



- ★指導と称して教師が生徒に抱きついたり、不必要にからだにさわったりする
- ★着替え中の更衣室に入ってくる
- ★性体験やからだのことについて、しつこく聞く

職場で



- ★性やからだに関する冗談やからかい
- ★食事やデートへの強引な誘い
- ★抱きついたり、からだを不必要にさわる
- ★ヌード写真やポスターを目につくところにおく
- ★立場を利用して性的関係を迫る
- ★誘いに応じない場合に仕事上での嫌がらせをする

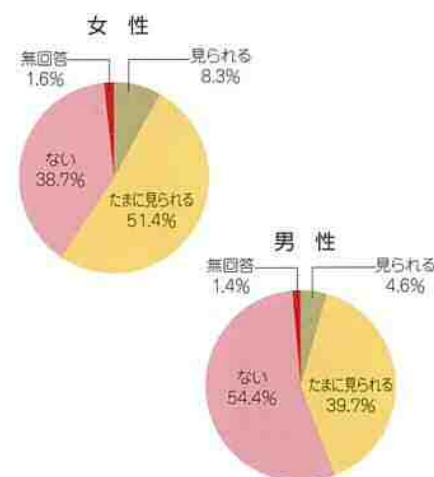
地域で

- ★酒の席などで、デュエットを強要したり、からだにさわったりする
- ★夫婦間のことやプライベートなことを根掘り葉掘り聞く
- ★異性関係についての噂を流す

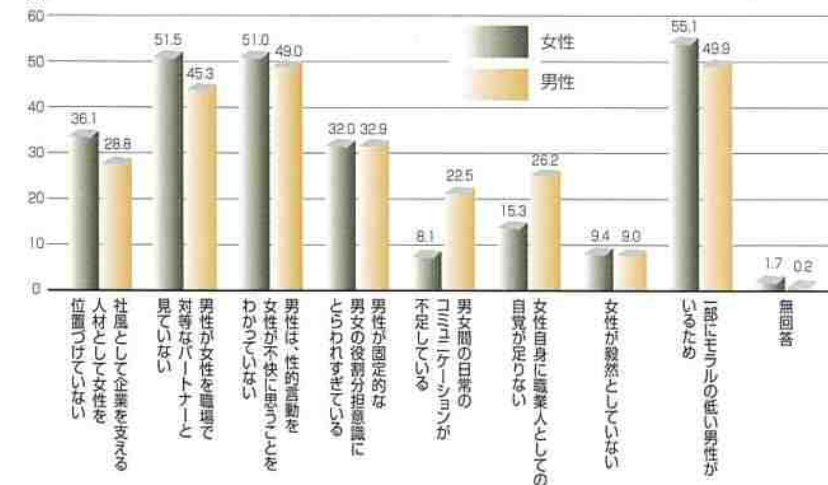


こうしたことは、職場や学校、地域社会のさまざまな状況で起こっています。いずれにしても、相手が望まない性的な言動によって、相手を傷つけたり不快にさせることはセクシュアル・ハラスメントといえます。相手が嫌だと思えることが問題であり、同じことをしても、セクシュアル・ハラスメントになるかどうかは、相手との人間関係、信頼関係によって異なります。

職場でセクシュアル・ハラスメントは見られるか



セクシュアル・ハラスメントが起こる原因



グラフは「職場におけるセクシュアル・ハラスメントに関する調査研究会報告書」(平成9年 労働省)より